

歯医者さんが決して話さないリアルな歯科業界の現実

2

現役歯科医が正直に告白する良い歯医者さんの条件

5

◇私のプロフィールと歯科医師になった理由

◇私の治療理念を決定付けた母の死

◇私が考える良い歯医者さんの条件とは

良い歯医者さんならこう答えるQ&A

16

最後にどうしても伝えたい大事なこと

25

◇想像以上に密接なお口の環境と身体の健康

◇歯科医師としての私の夢

歯医者さんが決して話さないリアルな歯科業界の現実

突然ですが、クイズです。

現在、日本中でどれくらいの数に歯科医院があるでしょうか？

数千？ それとも、もっとも多い……

おそらく、ほとんどの方は想像したこともないくらい、100億を越えています。

今や日本全国の町で見かけるようになったコンビニエンスストアの数ですが、これは約4万といわれています。

——実はなんと、これより3万も多い約7万もの数の歯科医院が日本には存在するのです！

みなさんは、これを聞いてびっくりするでしょうか？

「素晴らしい！ コンビニより多いなんて！ 選び放題ね」

「歯医者さん同士、お互いに競争しあって、割引サービスなんかもどんどんしてくれるのかしら?!」

ちよっと待ってください。実はここ最近、こうした状況のもと、むしろ患者さんにとって困った現象が増えてきているのです。

歯科医の診療報酬は、そのほとんどが保険点数というもので料金が規定されています。また保険のきかない自費診療の場合も医院間で大きく差をつけるわけにもいけません。そんななか競争激化により治療内容、そのほかのサービスで他院との差別化に遅れ、廃業する歯科医院も少なくありません。

以前のように患者さんが来てくれず、困った歯医者さんたちはどうしたかということ……、例えば、診療を引き延ばすなど、自らの目先の利益を最優先して治療方針を決定する方すら出てきてしまっているのが現状なのです。

——このことを知ったときには、同業者として私も少なからずショックを受けました。

その歯医者さんたちも、当初は私と同じように大きな志を抱いてこの世界に飛び込んだのではなかったのだろうか……。おそらく、その日その日の医院運営で一杯なのでしょう。

しかし、歯は身体の根幹をなすといつていいほど肝心なもの。

一度失えば、けっして他では代えられないあなたの一生涯の大事なパートナーなのです。

あなたはその大事な歯を、そんな歯医者さんたちに任せる勇気がありますか？

正しい診療を行ってくれる良心的な歯医者さんに出会いたい。

だれもがそう考えるのではないのでしょうか？

そうは言っても繰り返しますが、これほど歯科医院が乱立するご時世です。

患者さんにとっても、歯科医選びに大いに悩む時代となってしまったのです。

いったい何を指針にして、あなたは歯医者さん選びを行えばいいのでしょうか？

長年の経験から、私には多少なりともそれが分かります。

そこで私が考える「良い歯医者さんの選び方」について、次章ではお話ししたいと思います。

現役歯科医が正直に告白する良い歯医者さんの条件

◇私のプロフィールと歯科医師になった理由

——申し遅れました。

私は現役歯科医の「大矢 敦司（おおや あつし）」です。

私のことを知っていただくために、
プロフィールを簡単に紹介しますね。

生年月日 昭和39年3月9日

辰年生まれのお座、血液型はO型です。

出身地 東京都品川区五反田

出身校 昭和大大学歯学部 昭和大大学院卒業





上：4歳ごろ蔵王でそり遊び

右：小学2年生、自宅で勉強しているふりして、ハイポーズ

下：大学時代、よみうりランドの観覧車で。彼女（現在は妻）が撮影



家族構成 同じく歯科医である妻、義理の母、二人の子供（長男・

平成4年生まれ 長女・平成10年生まれ）

犬（ミニチュアダックスフンド）、魚（熱帯魚・金魚）、カメ、ハムスター

——家族揃って生き物が大好きで、たくさん飼っています。

好きな食べ物 フルーツ、水

フルーツには消化を促進する酵素がたっぷり含まれていて、空腹時の朝に食べるのが一番いいと知ってから、朝食はフルーツのみです。

またお水は硬度の低い「軟水」（日本のお水のほとんど）と決めています。

人間の身体の70パーセントを占めている水は、やはり重要。

生活する近くで採れた野菜や水は、身体にもいいんですよ。

——「健康オタク」と笑われてしまうのでしょうか（笑）？ しかし私には健康に関すること全般に、強い関心があります。



家族揃ってスキューバダイビングに挑戦！

得意なこと

（仕事上のことなので恐縮ですが……）患者さんとの会話やコミュニケーション

熱中していること

第一に「仕事」

趣味では「マラソン」

先日初めてフルマラソンを完走（完歩・笑）しました。

週に2、3回忙しい時間の合間を見つければ、ジョギングしています。

これは歯科医に必要な、体力の維持にたいへん役立っています。

——趣味といいつつ、やはり仕事につながってしまっていますね（笑）

幸せだなと思う瞬間

患者さんに感謝されたとき。そして、忙しい毎日のなかで、大事な2人の子供と一緒に過ごせる貴重な時間 —— みなさんと同じですね。

歯科医になった理由

同じく開業歯科医だった父の後姿をみて育ったからでしょうか。

厳しい父で、筋が通ってないと「ガツン」とやられる(笑)。父はいったん経済の世界を志した後、歯科医になると決意した変り種でした。みなに恐れられる存在で、学会の要職を歴任していました。ちょっとした有名人でしたね。

時には、出来の悪かった「入れ歯」を医院で放り投げているのを見たこともあります。しかし、これも父の治療に対する完璧主義がなせる業。治療方針にはきちんと裏づけがあり、

患者さんにとってベストな治療を常に考えていましたね。昔かたぎで「患者さん本位」のいわば、「赤ひげ先生」といった気質の父。こうした父の診療姿勢を見て育ち、私も自然と歯科医という職業に憧れていったのです。

ところがその父は、私が歯科大学を受験すると決めたとき反対したんですよ。先見の明があつて現在の厳しい歯科業界を、当時すでに見こしていたんでしょう。しかし私には迷いはありませんでしたし、今でもその選択に間違いはなかったと思っています。

私の誇りでもあるこの父は、80歳を過ぎた現在でも週に数日、30年から40年来のお付き合いの患者さんを診ています。



初孫のお宮参り。平成4年

◇私の治療理念を決定付けた母の死

厳格な父とは好対照に、私の母（母方の祖父は地元・五反田の産婦人科医でした）は、人と接するときにまず相手のことを考えるという「気遣い」ができた人。私も母からそのことをたくさん学びました。母には遠く及びませんが、実践できればと常に考えています。

しかしその母が、平成10年に急に他界――。

そしてその11月、現在の私の治療方針とは実は無縁ではないのです。



生前、孫のお遊戯会で

平成10年、母はガンが発見されたわずか1か月後に、息を引きとりました。偶然発見されたガンで、本人はぎりぎりまで元気そのものだったため、家族にとってもまさかのことでした。母は医院の経理を一手に引き受けてくれていましたから、深い悲しみもさることながら、現実的な面でも私は一気に厳しい状況に陥りました。それまで医師として治療に専念するため、経営部分のことにあまりに無知だった私は、一からそのことを勉

強しなくてはなりませんでした。半年あまりの間、身も心もボロボロの状態になりながら、なんとか仕事をこなしていきました。

その間、時にはこう考えて自分を責めました。

「なぜ母は、こんなに急に亡くならなくてはならなかったのか？」

「医師として私にもっとできることはなかったのだろうか？」

こうした感情に日々、苦しんだのです。

そんな時に私を助けてくれたのは、患者さんからいただくあたたかい励ましや、治療に対する感謝の笑顔でした。

そして「この患者さんたちには、私と同じ悔しい思いをしてほしくない。そのために私にできることはないだろうか？」こう考える日々が続いたのです。

苦しみぬいたある日、亡き母の笑顔とともに、次の考えが浮かんできた瞬間を私は今でも忘れません。

それまでの私は、歯科医師として必死に患者さんの「歯」だけをみていました。

しかし「医師としてそれだけでいいのだろうか」という疑問が常にあったのです。

「これからは患者さんの身体や心までトータルに考えて、歯の治療をしよう！」

それは医師として、当たり前といえれば当たり前のこと……。ところが技術の習得に躍起で、「歯の職人」に徹してきたそれまでの私には、大きく、大きく欠けていた視点でした。

またそれと同時に「母のがんが早期発見できていたら……」という深い後悔から「予防医療」や「健診」の大切さも改めて痛感したのです。

悲しい体験でしたが、母の死は、私にこれらの貴重な気づきを与えてくれました……。

私が考える良い歯医者さんの条件とは？

私のことを少し分かっていただけただでしょうか？

ここで、そんな私の考える「良い歯医者さんの条件」について、お話ししようと思います。

◇私が考える良い歯医者さんの条件とは

最近ある患者さんから、こんなお話しをつかいました。

「先日お医者さんにいったんだけど、私の顔色すら診ようとしませんよ。聴診器もあてずに、検査結果だけみて、『お薬を出しときましたから、ハイ。』って」
その患者さんは、自分がまるで機械のように扱われたことに対して、強い不信感を抱かれたようです。

じっさい、どんな患者さんも治療が始まる前に「この人は、どこまで親身に自分のことを思って治療してくれるのだろうか？」というように、私の顔をじっと見られます。
医師である私が逆に患者さんから「診察」されているようなものです。

みなさんが心配なのは、「治療の質」以前に、まず歯科医とのコミュニケーションがうまくいくかどうかではないでしょうか。

そして実はそれは、患者さんの訴えや要望、希望を適切に詳しくお聞きして、適切なアドバイスをするために、医師側にとってもたいへん重要なことなのです。

コミュニケーション能力が不足した歯科医師は、治療の質という点でも問題外です。
ちゃんとあなたの目をみて、徹底的に話しを聞く時間をとってくれる。

そんな歯科医であればこそ、あなたの歯の状況を正しく受けとめてくれ、「オーダーメイ

ド」ともいえる適切な治療方針を計画してくれるはずなのです。

具体的には、「パソコンの画面を見ながら片手間に患者の話を聞いているような歯科医師」は絶対にいただけません。そんな歯科医師にあなただけのオーダーメイド治療ができるとは思えないからです。

ちなみに私の場合は、後でカルテを書くためにアシスタントに「横でメモをとってね」と指示して、診療中は患者さんとのコミュニケーションに徹し、どんな小さな要望も聞きのがさないように心がけています。

実は歯と身体の健康とは直結しています。そのために私は患者さんの身体全体や生活に対して、強い関心があるのです。例えばタバコや生活上のストレスなどによる抵抗力の低下が歯周病のリスクファクターになることすらあるのですから。（歯と他の器官との関係については、最終章で詳しく説明します）

雑談のなかに患者さんの生活習慣などが見え隠れすることすらあります。私の場合は本当にお話を楽しんでしまい、スタッフから「急いでー!」との「巻き」の指示がはいるほどですが（笑）。実はこうしたなかにも、治療に有効な情報が隠されていたりするものです。

雑談といえ、以前、患者さんに眼のことを相談され、そのとき信頼できる眼科医を紹介したことで、たいへん喜ばれたこともあります。

私にはありがたいことに、引越などで家が遠くなっても、片道3時間かけて通ってきてくださる患者さんもいらっしゃいます。患者さんの家族構成などもなぜかよく知っていますし（笑）、また健康上、生活上の悩みを打ち明けてくださることも多いのです。

そこでポイントの第2点めです。

それは「あなたが歯以外の悩みをつい打ち明けたくなるかどうか」。

これもまた良い歯医者さんを見抜くための指針となります。

あなた自身やあなたの全身の健康状態にまで関心をもっていて、つついそんなことまで相談したくなる、そんなコミュニケーション上手な歯医者さんだったら絶対大丈夫——。

歯は一生もの。歯医者さんも一生ものが理想です。患者さんと歯科医とは、強い信頼関係、パートナーシップが築けるかどうかが一番、重要なのです。

これらのポイントをふまえて、ぜひ一生つきあえる歯医者さんを探してみてください。

良い歯医者さんなら「JINGINQ&A

「良い歯医者さん」の選びのポイントについて、理解していただけただけでしょいか？
「歯医者さん」も「JINGINQ&A」を知らず、「歯」についても知りたず。
——そう、患者さんはもっと意識すべきなのです。

そこで患者さんたちの歯「対」しての「お悩み」を疑問「して」、
「良い歯医者さん」なら「お悩み」に「答」えてくれるはず、そんなQ&A集をつくってみました。

「歯周病」について

Q 最近よく聞く「歯周病」って、そんなに多いのですか？

A 歯周病とは以前は歯槽膿漏と言われていたものと同じと考えていただければいいと思います。そうですね、一説には30歳以上の成人の80%が歯周病と言われています。その数字は初期の軽度の歯肉炎の方から、重度で歯がグラグラして抜ける寸前の方まで

を含む数字です。

Q 歯周病を放置する(気がつかないと、どうなりますか?)

A 歯周病は多くの場合、例えば高血圧や糖尿病と同じく慢性的に進行していき、なかなか気が付きません。いわゆる生活習慣病の一つです。だからしっかりとかかりつけの歯科医師や歯科衛生士を決めて定期的(3〜4ヶ月ごと)にメンテナンス(定期健診)を受けましょう。

Q 歯周病って、本当に怖い病気なのですか?

A まず歯周病とは歯周病を起こす歯周病菌の「感染症」であることに気がつくてください。歯みがき粉などのCMで、みなさんなんとなく聞き流していると思いますが、歯周病菌を殺菌するといっていますよね。

とあるCMでも「歯周病菌連鎖をくいとめろ」というのがありました。これは例えば歯周病を有するひとが、糖尿病、心筋梗塞、女性の早産、肺炎などの発症率が高く、病気の進行も早いことをふまえていっているのです。全身の健康維持のために、まずお口の

健康をしっかりとキープしていきましょう。

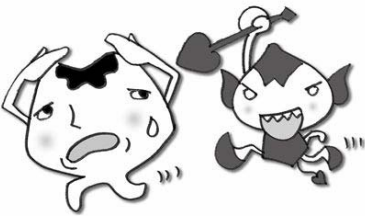
Q タバコを吸っていると、歯周病になりやすい？

A タバコを吸う人が歯周病になるリスクは、吸わない人に比べて2〜3倍、ヘビースモーカーでは5〜6倍というデータがあります。タバコを吸うとお口の粘膜からも吸収され、歯肉（歯ぐき）がダメージを受けてしまうからです。

「ムシ歯」について

Q 痛くないムシ歯治療はありますか？

A 歯にある神経のうち、99%が痛みを感じるといわれています。ですから100%痛くなくというのは難しいですね。しかし、歯肉の表面に麻酔をしたり、ゆっくり麻酔をすること、レーザーを用いることによつて、出来るだけ痛みを軽減するように努めています。



Q なるべく抜きたくないのですが？

A 抜歯になってしまふ理由は30歳代くらいまでは1番は△シ歯が原因です。その後は歯周病が逆転して1番の原因となります。

そうですね、やはり定期的に歯科医院で検診を受けることが重要です。

Q △シ歯治療って、歯を削れば削るほど進行しやすくなるって聞いたのですが？

A △シ歯治療の流れをお話ししますと、まず多くはレジンというプラスチックの詰め物から治療が始まることが多いのです。その後、△シ歯の再発が詰め物と歯質の境目から生じると、金属の詰め物↓かぶせ物↓神経の治療↓抜歯↓ブリッジ↓入れ歯と、治療は進んでいきます。当然ながらお手入れの仕方により大きく期間は異なりますが詰め物から抜歯に至るまで平均で50年ともいわれています。人の寿命は80年まで延びていますから、できるだけ削らないようしっかりと手入れしていくと、ずっと美味しい食事が楽しめますよ。

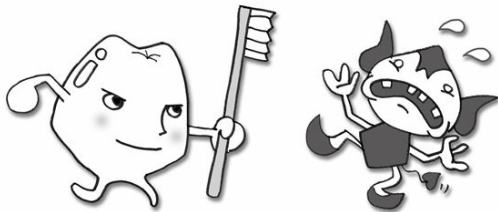
「予防」について

Q 予防って本当に定期的に行うべきですか？

A 結論からいいますと「イエス」です。定期的に健診を受けている人と、そうでない人の比較したデータがあり、みていると年数を重ねるごとに残っている歯の本数の差が広がっていきます。「継続は力なり」。しっかりと症状がない健康時からケアをしていきましょう。できれば3カ月ごと、少なくとも年2回は受けましょう。

Q 予防に一番効果的な方法は？

A 1番は毎日のブラッシングです。だって毎日、歯医者さんに通って磨いてもらうわけにいかないですよ。歯ブラシだけでなく、すき間の掃除に糸ようじ、デンタルフロス、歯間ブラシなどを使いましょう。また最近はやさしい電動ブラシもありますので、ご相談してください。



しかし、これだけでは十分ではありません。毎日しっかりお掃除していても、歯の表面には薄いバイオフィルムという歯周病を起こす細菌の頑丈な膜ができてきます。それによって歯周病が進んでいきますので、定期的にしつかりと歯医者さんでお掃除を受けることが大切になります。

「矯正」について

Q 子どもの歯並びが気になります。いつごろから矯正を始めたらいいですか？

A お子さんの年齢と歯並びの程度にもよりますね。多くは小学生のころからが多いかと思いますが。いずれにしても矯正医に相談して、定期的にチェックを受けられることをおすすめします。必要な時期、適切な方法をアドバイスしてくれますよ。

Q 矯正することのメリットって何ですか？

A あなたはなぜ矯正治療を受けたいと思ったのでしょうか。多くの方は歯並びが乱れて口

元のことになったり来院されます。つまり「見た目」ですね。それでは皆さんが気がつかれていないメリットとは？ 最大のメリットは歯並びがよくなることによって、ブラッシングがしやすくなります。つまりムシ歯、歯周病にかかりにくくなるということです。いかがでしょうか。あなたの歯が長持ちするわけです。それ以外に食事の時にしっかりとかめる、食べ物がつまりにくくなる、しゃべったときに発音がよくなる、などなことです。運動能力のアップもありますね（少し前のことになりましたがカール・ルイス選手がオリンピックの表彰台で笑ったときに矯正の装置が見えたのを覚えている方も多いと思います）。

Q 逆に、矯正することのデメリットは？

A 治療期間中は歯に装置をつけますので、見た目、食事、発音などで不都合が生じます。またそれによってブラッシングがしにくくなるので、しっかり歯のお手入れをしましょう。いずれにしてもよくご相談して下さいね。

「インプラント」について

Q 金属のアレルギーが心配ですが？

A 歯科治療で使われている金属は、チタン、金、白金、銀、パラジウム、コバルトクロム、アマルガム（水銀系の金属）などがあります。さて、インプラントの金属は99%チタンでできています。このチタンという金属は、ゴールドに勝るとも劣らない生体親和性（身体になじみやすい）を持っています。そのようなわけで安心して使用できる金属といえます。もしご心配でしたら、アレルギーテスト（パッチテスト）で確認してからインプラントをしましょう。ちなみに前記の金属はおおよそ列記した順番でアレルギーの頻度が増えていきます。

Q インプラントってどのくらいもつ？

A インプラントの成功率はこのところかなり安定してきています。現在では、5年後の成功率が95%前後、10年後では90%超の数値を示すものが多いようです。この数字は他の歯科治療（詰め物など）と比較して高率といえると思います。しかし、インプラントは非常に繊細なのでその後のお手入れ（セルフケア）と、定期的なメンテナンスは欠

かせません。必ず治療後はお手入れと確認にいらしてください。

「審美」について

Q 見た目をきれいにしたいのですが？

A □元は、あなたの印象の決め手です。よく見かけるのは、とっても素敵なお化粧をしているのですが、笑ったときの□元にあまりにも無頓着な方が多いことです。これは女性に限らず男性でも髪型やヒゲに気を配っているのですが、歯並びやステイン(タバコやお茶などの着色)が目立つ人の多いこと。ぜひ皆さんは□元を気にせず大きな□で笑えるようになってください。

Q 見た目がこころまで変えるって？

A 今あなたは思い切って笑っていますか？ 時々□元を気にしたり、おさえたりしていませんか？ 素敵なお元を得ることで自信を持って人とコミュニケーションすることができますよ。こころから素敵な笑顔になり、あなたの人生が今まで以上に輝きます。



最後にどうしても伝えたい大事なこと

◇想像以上に密接なお口の環境と身体の健康

最後にどうしてもお伝えしておきたいことがあります。それは私の夢——。

しかしそれをお話する前に、1つのことについて詳しく説明させてください。

それは「歯と他の身体器官との関係」についてです。

最近の研究で両者のあいだには思いのほか密接な相関関係があることが、解明されてきています。

歯周病、ムシ歯、噛み合わせの問題……。

なんとこれら歯科医院で扱う主な症状すべてについて、全身への影響が報告されているのです。

■歯周病・ムシ歯による問題

ムシ歯や歯周病などにより喪失した歯の数が多い人ほど、アルツハイマー病の発症率が高いという報告があります。

つまり歯がなくなり、歯の周辺の神経が失われたり、あるいはそしゃく回数が減ることで、脳への刺激が激減する。それが脳の働きに影響を与えるのです。

アルツハイマー病を発病した人は発病しなかった人に比べて、中年までに歯周病を患った割合が4倍高いという研究結果があります。

歯周病の全身疾患への影響については、昨今もっとも研究の盛んな分野です。

口の中には約300種類の菌が数十億いますが、なかでも歯周病菌のような毒力の強い菌は、口の中で増えてくると血管の中に入り込んでしまいます。それが血流を通して全身に行き渡り、各器官に悪影響をおよぼすのです。

【早産および低体重児出産】

歯周病菌を撃退する免疫反応として分泌されるサイトカインが羊膜を破壊し、低体重児および早産の原因になることがあります。

歯周病を治せば全早産の18%が予防できるという研究報告があります。

【心循環器疾患】

歯周病を患っている人は健康な人の3倍の確率で心臓病になりやすいといえます。歯

周病菌の作り出す物質が血管を伝わって心臓の冠状動脈内壁を肥厚させ、狭心症、心筋梗塞を起こすためです。

さらに歯周病を持つ心疾患患者の死亡率は、通常の約2倍といわれています。

【脳血管疾患】

歯周病にかかっている人では「脳卒中」などの脳血管疾患になる危険性が高いことがわかっています。

【糖尿病】

歯周病菌への免疫反応として放出されるサイトカインという物質が、糖分を細胞内に取り込む役目をするインスリンに作用してその機能を阻害するため、結果として血糖値が上昇し糖尿病を引き起こすことがあります。

最近の研究では、徹底した歯周治療で血糖値が改善されることがわかってきました。

【呼吸器疾患】

歯周病細菌は肺炎の原因となるものが多いため、高齢、痴呆、被介護、脳血管障害、手術後など身体の防御機能が低下した状態では、こうした細菌を含む唾液などを誤嚥する

ことで、肺炎にかかる率が高くなります。

【かぜ、インフルエンザ】

かぜやインフルエンザのウイルスは、口やのど、鼻の粘膜に取り付いて発熱させます。歯周病菌の中には、粘膜を保護する組織を破壊する酵素を分泌し、ウイルス感染の危険性を高めるものがあります。

そのほか【骨粗しょう症】【胃潰瘍】など、さまざまな疾患と関係があることが指摘されています。

■噛み合わせの問題

噛み合わせが悪いと、あごのラインに微妙なズレが出ます。そのズレが異常なストレスをもたらし、そこから頭痛や肩こりが起こり、さらには背骨も曲がって骨盤がズレてきます。そして身体の重心が変化することで、原因不明の全身の不快感が引き起こされるのです。また逆に頭痛や肩こりなど体のどこかの不調が原因で噛み合わせが悪くなることもあります。「逆もまた信なり」です。

また「噛み合わせ」と聞くと非常に大きなズレのような感じがしますが、実はそうではあ

りません。紙一枚か二枚、あるいはそれほどないくらいのはわずかなズレがかみ合わせの歪みをつくり、そしゃく筋のバランスをくずすのです。

◇歯科医師としての私の夢

終わりに、私の歯科医師としてのモットーをお話しさせていただきますね。

それは、「日本一おせっかいな歯科医師をめざすー」というものです。

私は大切な母の死を目の当たりにしたことで、「人は突然死ぬ」「病は知らない間に忍び寄る」という現実を思い知らされました。

そこで予防医療の重要性を再認識させられたのです。

しかしながら残念なことに、日本人のこと歯科医療に対する意識は欧米に比べまだまだ低いレベルにあるといわざるを得ません。

欧米ではメンテナンスを受けるためだけに歯科医院に通う人口が、日本の約10倍。

わが国でも一人当たりの医療費が上がりつつある今、悪くなってから治すより、悪くならないための予防医療が常識になるまで、その重要性を広めていきたいと思っています。

また前節でご説明したように、歯の健康が身体全体に及ぼす影響は、実は絶大なのです。そのため単に歯だけにとどまらず、そこに患者さんの身体全体への作用をふまえた有意義なアドバイスを行っていきたいと考えています。

さらに私自身の人生のモットー。

それはいかに歯科技術を向上させようとも、「実るほど頭を垂れる」自分でありたいということ。

これからも「歯科医師」と「患者」という関係性にとらわれず、あらゆる方と分け隔てなくあくまで「ひと」と「ひと」として接していきたいと思っています。

そしてこれからの歯科医院の経営の面では、厳しい歯科業界にあっても利益優先の合理化をなすより、まず私も含めスタッフ、そしてなによりも患者さんの人間性を重視した歯科医院づくりを目指していきたいと切に考えています。

最後まで私の駄文にお付き合いいただき、たいへんありがとうございました。
この小冊子が、みなさまの歯の健康に少しでも役立ちますよう、願ってやみません。

2007年10月

医療法人社団 大樹

大崎ThinkPark 歯科

院長 大矢 敦司

【著者紹介】

大矢敦司（おおやあつし）

医療法人社団 大樹
大崎ThinkPark歯科 院長

1964年 品川区五反田生まれ



厳格で、昔かたぎの「患者さん本位」の歯科医である父親の姿を見て育ち、自然と歯科医師への憧れを抱く。その父の強い反対にあうものの、志しを貫き歯科医師となった。

母親の突然の死をきっかけに、それまでの「歯の職人」に徹してきた診療姿勢から、「日本一おせっかいな歯科医師」をめざす。

診療中にプライベートのことを相談されたり、引越し後3時間かけてでも通院してくれる患者さんがいるなど、そのファンの数は多い。

『安心して一生任せられる』

『良い歯医者さんの見つけ方』

2007年10月 第1刷発行

著者 大矢敦司